

平成 25 年度 事業概要及び報告

1 はじめに

当財団は、設立趣旨ならびに寄付行為に基づき、首里城に関する展示資料の収集等を目的とした首里城基金が設置され、基金の造成、管理及び運用の諸事業を実施している他、首里城に関する調査研究、普及啓発等の事業を行っている。詳細については、下記のとおりである。

2 財団の事業概要 (※一部抜粋)

◆首里城に関する調査研究事業

- (1) 正殿漆塗装関連資料の調査研究
- (2) 在外首里城関連文化財の調査研究
- (3) 御後絵の調査研究
- (4) 首里城正殿三御飾等道具の調査研究
(道具類の製作及び往時の製作技法の復元)

◆首里城に関する普及啓発事業

- (1) 琉球王国関連資料の展示
- (2) 図録や小冊子等印刷物の発刊
- (3) 職場体験、研修生等の受け入れ
- (4) 首里城見学会及び体験学習会の実施
- (5) 地元団体との連携事業の実施

◆その他の事業

- (1) 共同研究事業の実施 (大学等)

3 平成 25 年度事業報告

1) 首里城に関する調査研究事業

(1) 首里城の歴史、伝統美術品等に関する調査研究

①御後絵復元制作

首里城公園友の会によって調査・制作された「尚育王御後絵」の寄贈を受け、財団として軸装を行い、合わせてデジタルでのレプリカ制作を行った。軸装については、古写真に写されている裂に近づけた裂を製作し、軸装を行った。

②在外首里城関連文化財の調査研究

また、平成 23 年度に実施したベルリン国立民族学博物館所蔵の染織品調査に関する報告書を刊行した。加えてヨーロッパ地域の琉球関係文化財の所在情報を蓄積した研究者のノート等をカルテ化する作業を実施した。

③首里城正殿三御飾復元制作業務

かつて首里城正殿において正月儀式で使われていた「三御飾道具及び御床飾道具」の復元製作を実施した。漆芸品 1 点 (楕円盆)、金工品 2 点 (錠前、銀杯洗台下部分のみ) が完成し、軍配・采配について、調査検討を行った。平成 25 年度末時点で、41 点中 29 点の復元が完了した。

④御座楽衣装復元調査業務

御座楽衣装調査では、紅型 4 領に使用されていた植物染料や鉱物顔料について蛍光 X 線非破壊分析

装置等の機器を用いて調査を行った。参考調査として、那覇市歴史博物館所蔵の金杯1点についても併せて調査を行った。

(2) 首里城正殿漆塗装材等に関する調査研究

正殿等復元建造物の維持管理技術に関する調査研究では、漆等塗装材として使用する為、採取した久米赤土の焼成実験等を行い、安定的に赤色顔料の調達する事が可能な情報収集を行った。併せて焼成せずに塗装することは可能な調査を行った。また安定的な塗料開発を行う為、桐油と荏油を混合した塗料の評価実験を行った。

2) 首里城に関する普及啓発事業

- (1) 沖縄の歴史文化に関する知識の普及啓発を推進するため、県内の小・中学生の歴史文化学習に対し助成を行った。
- (2) 首里城公園の支援団体である「首里城公園友の会」が主催する文化講演会、イヌマキ育樹等の事業実施に対して助成を行った。
- (3) 那覇市の協力を得て琉球国王であった尚家に伝わる古文書類（国宝：尚家文書）の複製本の製作を行った。

(4) 清代琉球史料選編刊行助成

台湾故宮博物院に所蔵されている中国清代の琉球関係行政文書の史料集刊行の為、助成を行った。

- (5) 南殿二階特別展示室において、首里城や琉球王朝の歴史、文化、美術工芸等を紹介する「守れ！琉球の宝Ⅰ・Ⅱ」と題した企画展を実施した。南殿と近習詰所・黄金御殿との供用開始に向けた接続工事を実施することとなり、実資料の展示が困難であることから、古写真パネル展「写しだされた戦前の首里城Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を実施した。「写しだされた戦前の首里城」では、「Ⅰ」として鎌倉芳太郎氏によって撮影された古写真、「Ⅱ」は鎌倉氏の写真に加え、戦前の修理に携わった柳田菊造氏の古写真、「Ⅲ」では、文部省の技官であった森政三氏の撮影した古写真を展示し、3回連続シリーズ古写真展を開催した。

また首里杜館情報展示室において、古写真パネル展「懐かさん 中城御殿～森政三コレクション中城御殿古写真展～」を実施した。森政三コレクションの古写真である旧中城御殿の間取り図が描かれた「中城御殿御普請板図」を公開した。

加えて首里杜館ビジターロビーにてリピーター対策や有料区域への入館促進を行うため、「写しだされた戦前の首里城」展に関する情報パネルを設置した。